

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 1 部門第 2 区分
【発行日】 平成 19 年 2 月 1 日 (2007.2.1)

【公開番号】 特開 2006-288417(P2006-288417A)
【公開日】 平成 18 年 10 月 26 日 (2006.10.26)
【年通号数】 公開・登録公報 2006-042
【出願番号】 特願 2005-108888(P2005-108888)
【国際特許分類】

A 6 3 B 69/36 (2006.01)

【F I】

A 6 3 B 69/36 5 4 1 Z

A 6 3 B 69/36 5 4 1 W

【手続補正書】

【提出日】 平成 18 年 12 月 12 日 (2006.12.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

マットと、

クラブフェースが前記マットに当たる度合いを検出する検出手段と、
この検出手段による検出結果に応じて、スウィングの良否を判定する判定手段と
を有するゴルフ練習装置。

【請求項 2】

前記検出手段は、スウィング方向においては、ボール載置位置と同一又は前方にあり、
鉛直方向においては、ボール載置位置と同一又は下方にある

請求項 1 に記載のゴルフ練習装置。

【請求項 3】

クラブの番手に応じた度合いを記憶する記憶手段と、
クラブの番手を受け付ける受付手段と
をさらに有し、

前記判定手段は、前記受付手段により受け付けられたクラブの番手と前記記憶手段により記憶されるクラブの番手に応じた度合いとにさらに応じて、スウィングの良否を判定する

請求項 1 又は 2 に記載のゴルフ練習装置。

【請求項 4】

ボールを載置するボールバーと、
このボールバーが当たる度合いを検出する検出手段と、
この検出手段による検出結果に応じて、スウィングの良否を判定する判定手段と
を有するゴルフ練習装置。

【請求項 5】

前記検出手段は、スウィング方向において、前記ボールバーの左右の少なくとも一方に
設けられてなる

請求項 4 に記載のゴルフ練習装置。

【請求項 6】

前記検出手段は、前記ボールバーとの間の距離を調整可能である

請求項 5 に記載のゴルフ練習装置。

【請求項 7】

前記ボールバーは、高さを調整可能である

請求項 4 に記載のゴルフ練習装置。

【請求項 8】

マットと、

ボールを載置するボールバーと、

クラブフェースが前記マットに当たる度合いを検出するクラブ検出手段と、

前記ボールバーが当たる度合いを検出するボールバー検出手段と、

前記クラブ検出手段及び前記ボールバー検出手段による検出結果に応じて、スウィング
の良否を判定する判定手段と
を有するゴルフ練習装置。

【請求項 9】

前記判定手段による判定結果を表示する表示手段をさらに有する

請求項 1 乃至 8 のいずれかに記載のゴルフ練習装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記目的を達成するために、本発明にかかる第 1 のゴルフ練習装置は、マットと、クラブフェースが前記マットに当たる度合いを検出する検出手段と、この検出手段による検出結果に応じて、スウィングの良否を判定する判定手段とを有する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

また、本発明にかかる第 3 のゴルフ練習装置は、マットと、ボールを載置するボールバーと、クラブフェースが前記マットに当たる度合いを検出するクラブ検出手段と、前記ボールバーが当たる度合いを検出するボールバー検出手段と、前記クラブ検出手段及び前記ボールバー検出手段による検出結果に応じて、スウィングの良否を判定する判定手段とを有する。

好適には、前記判定手段による判定結果を表示する表示手段をさらに有する。